

鳴神



発行責任者 校長 村上 順一 発行日：令和2年7月15日

「あいさつの持つ力」

大越中学校長 村上 順一



食育講話 (1年生)

私は、心からすごいなと思います。止まった方も気持ちよくなるだろうと思います。

この姿勢は、小学校の集団登校の中で培ってきたのだらうと思います。特に、きちんと礼をしている生徒たちは登校班の班長をしていたのでしょうか。昨年まで小学校の校長をしていた私としては、大越小学校の登校指導に感謝するばかりです。それを中学生になっても続けられる生徒たちは本当に素晴らしいと思います。また、校舎内でも「こんにちは」と言えることはこれもまた素晴らしいと思います。



薬物乱用防止教室 (3年生)

の「あいさつ」をして回ります。そのあいさつには「今日も来てくれてありがとう」という意味が込められています。4月、5月は臨時休業が続き、学校で生徒の声を聞くことができませんでした。学校は「生徒いてこそその学校」です。

「あいさつ」にはいろいろな役割、働きがあります。人の気持ちをほっとさせたり、明るくさせたりする効果があります。暗くすることもできます。

そして「あいさつは」その人の人柄を見せる鏡のような気がします。

毎朝、時間の許す限り、登校見守りということで、校門前の信号のところ立っようにしています。その中で気が付いたことがあります。

信号が変わり、車が止まり、生徒が横断する。すると生徒の中に止まってくれた車に礼をする生徒が何人もいます。信号が赤なので車は交通法規を守って止まったわけで当然のことをしました。

信号機のない横断歩道で止まってくれたなら、その車に「ありがとう」の感謝を表すのは分かるような気がします。しかし、赤信号で停車するという当たり前のことをしてくれなかった車に「ありがとう」の気持ちを表すために、礼をする。



計算コンテスト

時と場に応じて適切な「あいさつ」ができる人になってほしいと願っています。社会に出てからは「あいさつ」が本当に大切ですから。

ところで、「あいさつは大切」、誰でもわかっていることですが、これがなかなか難しいのです。しかも、「心のこもったあいさつをする」となるとさらに難しい。

しかし、「あいさつ」一つで人を感動させたり、自分に「やる気」のスイッチをいれることもできるような気がします。

私は、校門での登校見守りが終わると校地を一周し、各学年の教室に「おはよう」



スマホ・ケータイ安全教室